

# ワクチン3回目接種 2回完了から8カ月以降

り、今からやるべき情報提供をやる方向で、分科会で話を決しておらず、十一月にもめ。

厚労省は九月、二回目の

追加接種を実施する方針を決定しておらず、十一月にも医療従事者を対象に二回目接種が始まる予定。高齢者で、自治体が対象者に接種券を発送する。

	医療従事者	高齢者	65歳未満
(万人)	104		
2021年12月	104		
22年1月	200	61	43
2月	182	1147	62
3月	84	1540	366
4月		299	1047

厚生労働省は「十八日、新型コロナウイルスワクチンの二回目の追加接種について、二回接種を終えた全ての希望者を対象とする方針を決めた。接種後、時間とともに金世代で感染予防効果が低下する」とが海外の研究で示されているのが理由。時期は、「二回目完了から八カ月以降が自安となる一部の六十五歳未満による」。

※ワクチン3回目接種の場合  
①面  
使用するワクチンは、一、「二回目と異なる製品を三回目と打つ「交差接種」を認めるかどうかも含めて、引き続き議論する。副作用の発生頻度は同程度で、感染を防ぐ抗体の量は増えたとの研究もあり、認められる可能性が高い。未接種者が打てる機会は継続して提供する。

厚労省は分科会で、感染予防効果が二回目接種から一カ月以内と五カ月以内で、どう変化したかを調べた米国の研究を紹介。十六歳～四十四歳では89%が39%に、四十五歳～六十四歳では87%が50%に、六十五歳～七十四歳では87%が50%に、六十五歳以上では80%が43%にそれぞれ低下した。

重症化を防ぐ効果は六ヶ月程度維持されるものの、六十歳以上では時間がたつにつれて減少する可能性があるとした。

諸外国の対応状況も示した。イスラエルでは十一歳以上を対象としているものの、欧米では高齢者や重症化リスクの高い人などに限定している国が多い。ただ対象者は継続して検討している国が多く、若者にも範囲が広がると予想されると説明した。

一方、委員会では「ひついう入が二回目接種が強く推奨されるのかある程度示すべきだ」といった意見が相次いだ。感染や重症化リスクの高い医療従事者や高齢者などには追加接種が望ましいといった意見もあ